

学校だより

令和7年5月29日 清瀬市立清瀬第十小学校 校長 鈴木 竜二 第3号

子供たちの豊かな成長を願い、連携・協力を

主幹教諭 芦澤 マユミ

十小は、昨年度よりコミュニティ・スクールとなりました。コミュニティス・スクールとは、 学校運営協議会制度を導入した学校のことです。学校運営に保護者や地域の皆様の声を積極的 に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めてまいります。

去る5月22日(木)には、第1回の学校運営協議会を開催いたしました。今年度の学校評価計画について話し合った後、教育委員会の方々と協議を行いました。主な協議の内容は、本校のコミュニティスクールとしてのあり方についてです。

- ① 円卓会議〈ひまわり105〉、避難所運営会議、学校支援本部が主催している既存イベント(秋祭り、防災イベント、十小ファーマー、火起こし等)にどのように関わっていくべきか
- ② これまで支えてくださっている皆様のほか、新たなメンバーを増やしていくにはどうし たらよいか。

以上の内容で、協議をいたしました。それぞれの組織が主催しているイベントとのすみ分けを していくこと、学校施設利用の工夫や学校ボランティア活動のハードルを下げる必要性など、 今後の参考になる御意見をいただきました。今後も議論を継続し、実現に向けた手だてを考え てまいります。

子供たちの豊かな成長のためには、家庭や地域との連携・協力が欠かせません。保護者の皆様におかれましては、お子様はもちろんのこと、十小に通うすべての子供たちの成長のために、今後とも学校の教育活動に御理解・御協力の程よろしくお願いいたします。また、コミュニティスクールや学校支援本部にご興味のある方は、ぜひ学校にご連絡ください。お待ちしております。

令和7年度 学校運営協議会委員(敬称略)

神山 繁樹		学識経験者			
石崎 勇仁		学校支援本部コーディネーター			
入江 寛子		元十小の会会長、本校卒業生			
岡 利依		学校支援本部コーディネーター			
久保田 一也		十小の会会長			
原田	亜由美	主任児童委員			
牧口	弘一	清瀬第五中学校校長			
松崎	由紀子	学校支援本部コーディネーター			

【学校運営協議会の主な役割】

- ・校長が作成する学校運営の基本方針 を承認する。
- ・学校運営について、教育委員会又は 校長に意見を述べることができる。
- ・教職員の任用に関して、教育委員会 規則に定める事項について、教育委員 会に意見を述べることができる。

<学校からのお知らせ>

スクールカウンセラーの利用について

子供たちの相談はもちろん、保護者の方の御相談もお受けしています。相談内容は、対人 関係や不登校、いじめ、学習関係など多岐にわたります。お気軽に御連絡ください。

曜日:火曜日(火曜日が祝日と重なる場合は、曜日が変更するときもあります)

時間:8:45~15:10(児童の生活時程に合わせて枠を設けています)

場所:2階 相談室

申込方法:担任や養護教諭、またはスクールカウンセラーに直接「カウンセラーと話したい。」と、伝えてください。

※保護者の方は、お電話にて予約をとることも可能です。 ☎042-493-4310まで御連絡ください。

十小蚕学習ボランティア・ピュアシルクよりお知らせ

6月26日(木)、3年生が蚕学習を行います。これに先立ち6月5日(木)に、使用する道 具の点検や教材準備の活動を行います。蚕学習の授業公開はありませんが、準備活動 はどなたでも見学可能です。御興味のある方は直接理科室にお越しください。時間は11 時~12時半、13時半~15時です。

様式1	令和7年度	清瀬市立清瀬第	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	学校評価計画

学校の教育目標

・豊かに感じ、よく考える子ども・友達の良さがわかり、助け合う子ども・心身をきたえ、明るく生きていく子ども

目指す学校像(ビジョン)

【目指す学校像】・児童が「共に学び共に育つ」学校 ・保護者・地域に信頼される学校

【目指す児童・生徒像】互いに認め合い、支え合い、高め合う児童

【目指す教師像】児童に達成感を味わわせ、確かな学力・自尊感情を育ませることのできる教師

育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動 ○育成を目指す資質・能力は、「協働的問題解決型学習による情報活用能

〇育成を目指す資質・能力は、「協働的問題解決型学習による情報活用能力」、「豊かな心・人間性」である。協働的問題解決型学習、通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習、道徳授業の充実などの取組を通して、育成すべき資質や能力の実現を図る。協働的問題解決型学習については、問題発見(課題設定)、解決策・仮説)、情報収集(選択)、問題解決(まとめ)、表現の学習プロセスを通し、児童同士が学び合い、「学ぶ楽しき」、「分かった・できた喜び」を実感できる教育活動を充実させる。また、タブレット端末を活用した協働的、個別最適化された学習、より高度な情報の収集、アプリによる児童同士の情報共有、プレゼンテーション等の作成を通して、基礎的な学力及び他者と共に考える力の更なる向上を図る。通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習では、一人一人の個性を生かし、互いに認め合い、支え合い、高めあう態度を身に付けさせる。さらに、豊かな心・人間性を育むために、「養蚕体験を通した命の学習」や「松竹梅+科学の力向上プロジェクト」に取り組んだり、「花のチカラプロジェクト」の取組を継続するなど五中との連携を推進したりする。

前年度までの学校経営上の成果と課題

【成果】「豊かな心の育成」の柱では、取組指標・成果指標それぞれ全ての項目が「4」となっており、学校関係者評価でも信頼と期待された御意見をいただいている。「健やかな体の育成」の柱では、短期経営目標の「児童が運動に親しむ態度を育む」で成果指標が「4」となり、児童自身に運動する楽しさを実感させることができた。

【課題】 基礎的な知識・技能の定着、体力の向上が課題である。東京ベーシックドリルや全国学力学習状況調査過去問の実践、ICT機器の効果的な利活用による個別最適化された授業等を通して、基礎的な知識・技能を確実に定着させていく必要がある。また、体力テストの結果を活用した授業改善をすすめ、児童の体力向上を図っていく。

柱	:を図っていく。 中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確			総合的な学習の時間や生活科で、5つ	4 全クラスで実施	4 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が80%以上
唯かな学力の向上		協働的問題解決型学習を取り入れた授	のプロセスを通した授業を行い、グルー	3 16学級以上18学級未満で実施	3 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が70%以上
	基礎的な知識・技能の	業を行い、情報活用能力を育成する。		2 14学級以上16学級未満で実施	2 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が65%以上
				1 14学級未満で実施	1 教員による評価で、指導目標達成の児童の割合が65%未満
	定着と情報活用能力の		ベーシックドリルなどを活用して取り組む ことで国語・算数の基礎を定着させる。(週	4 全クラスで実施	4 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が80%以上
	育成を図る。	基礎的な知識・技能の定着を図る。		3 16学級以上18学級未満で実施	3 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が70%以上
				2 14学級以上16学級未満で実施	2 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が60%以上
				1 14学級未満で実施	1 各単元テストで到達率70%以上の児童の割合が60%未満
豊		互いの良さを理解し、すすんで助け合う 児童を育成する。	全学年で輪番制であいさつ運動に取り 組む、地域の方や保護者にも挨拶がで	4 全クラスで実施	4 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が80%以上
				3 16学級以上18学級未満で実施	3 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が75%以上
<u>ځ</u> ۱				2 14学級以上16学級未満で実施	2 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が70%以上
i,	児童に自他の命を大切にするとは、		さるように、牧门前で扶持をする。	1 14学級未満で実施	1 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が70%未満
い の	にする心情や思いやり		左0回 これもいマント しま中性	4 全クラスで実施	4 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が85%以上
育	の心を育む。	いじめの未然防止、早期発見、解決、再	・年3回、ふれあいアンケートを実施 ・3年生以上の学年でアセスを実施	3 16学級以上18学級未満で実施	3 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が75%以上
成		発防止を確実に行う。		2 14学級以上16学級未満で実施	2 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が65%以上
			・教員研修の実施	1 14学級未満で実施	1 アンケートによる児童・保護者の取組への肯定的評価が65%未満
a			体育の学習で、各種目の個人やチーム目標	4 全クラスで実施	4 体力テストにおいて都平均を上回った種目が4種目以上
健や		児童が自己の運動能力に適した目標を 設定し、目標に向かって体力の向上を図 る。	体育の学音で、各種目の個人やナーム目標 を設定させる。授業ごとにその目標に対する	3 16学級以上18学級未満で実施	3 体力テストにおいて都平均を上回った種目が3種目以上
)\	D 文 / 大士 / 一四 1 1 -		振り返りを行い、目標の達成状況を自己理解	2 14学級以上16学級未満で実施	2 体力テストにおいて都平均を上回った種目が2種目以上
;	児童がすすんで運動に		させる。	1 14学級未満で実施	1 体力テストにおいて都平均を上回った種目が1種目以上
	取り組む態度を育成し、	児童が運動に親しむ態度を育む。	体カテスト活用授業や、各学期に1回体カ向 上旬間を実施する。めあてカードや掲示物に より、児童の記録と成長を可視化していくこと	4 体力向上旬間に参加した教員が26人(養護を除く全員)	4 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が85%以上
D	体力の向上を図る。			3 体力向上旬間に参加した教員が20人以上26人未満	3 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が75%以上
育				2 体力向上旬間に参加した教員が15人以上20人未満	2 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が65%以上
戈				1 体力向上旬間に参加した教員が15人未満	1 アンケートによる児童の取組への肯定的評価が65%未満
特		教員や児童、保護者への特別支援学級 に関する理解促進を図る。	児童のヘー人に合わせた父流を行い、児童か且いを認め合えるようにする。リーフレットやホームページ、ひまわり便りの配布により、ひまわり学級や交流及び共同学習 学習の様子太保護者に周知しないに理解促発表のス	4 全クラスで実施	4 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が85%以上
ij				3 16学級以上18学級未満で実施	3 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が75%以上
Σ	個に応じた指導・支援を			2 14学級以上16学級未満で実施	2 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が65%以上
曼女	充実させるとともに、特			1 14学級未満で実施	1 アンケートによる児童・保護者の肯定的評価が65%未満
X T	別支援教育についての	特別支援教育委員会を中心に、教育的 ニーズが必要な児童への指導・支援体 制を充実する。	な児童の様子を共有し、支援策の検討を行い、実施する。また、必要に応じて支援機関に	4 支援策を検討するための校内委員会を月に1回以上実施	4 アンケートによる保護者の肯定的評価が85%以上
)	埋解促進を凶る。			3 支援策を検討するための校内委員会を2か月に1回実施	3 アンケートによる保護者の肯定的評価が75%以上
Ē				2 支援策を検討するための校内委員会を学期に1回実施	2 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%以上
Ē				1 支援策を検討するための校内委員会を実施しなかった。	1 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%未満
		学校支援本部や地域住民、専門家の教育力を取り入れ、学んだことを社会の中で実践する力を育む。	外部人材を活用した授業を実施する。 -	4 外部人材を活用した授業を年間10回以上実施	4 アンケートによる保護者の肯定的評価が85%以上
_				3 外部人材を活用した授業を年間8回以上10回未満実施	3 アンケートによる保護者の肯定的評価が75%以上
本 校 の				2 外部人材を活用した授業を年間6回以上8回未満実施	2 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%以上
	育を充実させ、社会に開			1 外部人材を活用した授業の実施が年間6回未満	1 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%未満
ノ 寺	かれた教育活動を推進	学校の教育目標や教育活動についての情報を家庭・地域と共有し、連携して児童を育てる。		4 ホームページでの各学年の情報発信が年間20回以上	4 アンケートによる保護者の肯定的評価が85%以上
ਹ ਨੁ	する。			3 ホームページでの各学年の情報発信が年間16回以上20回未満	3 アンケートによる保護者の肯定的評価が75%以上
_				2 ホームページでの各学年の情報発信が年間12回以上16回未満	2 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%以上
				1 ホームページでの学年の情報発信が年間12回未満	1 アンケートによる保護者の肯定的評価が65%未満

			6月の行事予定	授業時数						
		朝	()の数字は該当学年	1年	2年	3年	4年 5年	6年		
1	B									
2	月	読書	読書旬間始 振替休業日(6)	4	4	5	6	6	0	
3	火	読書	安全指導日	4	5	6	6	6	6	
4	水	読書		4	5	5	6	6	6	
5	木	読書	5時間授業 耳鼻科(全)	4	5	5	5	5	5	
6	金	読書	委員会 水曜時程 ひまわりフェスティバル手伝い(6)希望者のみ	4	5	5	5	6	6	
7	±									
8	B									
9	月	全校朝会	避難訓練	4	4	5	6	6	6	
10	火		開校記念日							
11	水	読書	5時間授業	4	5	5	5	5	5	
12	木	読書	体力テスト	4	5	6	6	6	6	
13	金	読書	読書旬間終 教育実習終 クラブ モアレ検査(5)	4	5	5	6	6	6	
14	±									
15	B									
16	月	学級指導	科学教室(5)	4	4	5	6	6	6	
17	火	学級指導	校外学習(5)	4	5	6	6	6	6	
18	水	学級指導	体力テスト予備日	4	5	5	6	6	6	
19	木	学級指導	眼科(全)	4	5	6	6	6	6	
20	金	ハッピー 2・4・6		4	5	5	5	5	5	
21	±		サタデースクール(将棋・サッカー)							
22	B									
23	月	学級指導		4	4	5	6	6	6	
24	火	学級指導	音楽鑑賞教室(1·2·3)10:25~11:05 (4·5·6)11:30~12:10	4	5	6	6	6	6	
25	水	音楽朝会	4時間授業	4	4	4	4	4	4	
26	木	学級指導	蚕学習(3) 心の劇場(6) 1年生月曜以外5時間授業開始	5	5	6	6	6	6	
27	金	ハッピー 1・3・5		5	5	5	5	5	5	
28	±									
29	B									
30	月	学級指導		4	4	5	6	6	6	
月・火・木・金の下校時刻…④13:15 ⑤14:35 ⑥15:25 クラブ15:45 委員会15:30										

水の下校時刻…⑤14:05 ⑥14:55